

## 形態変化の有無から見る中日両言語

高橋 弥守彦

### Chinese and Japanese Viewed from the Perspective of Inflection

TAKAHASHI Yasuhiko

#### 内容提要

汉日两种语言从文字的大类上来看都属于汉字系统，然而汉语的文字特点是纯汉字的“单形体语言”，日语的文字特点是汉字、平假名、片假名等混合于一体的“多形体语言”。为此，前者多受语序的束缚，注重意义上的统合；而后者基于形态变化较为发达，因此在语序上相对宽松。这些特点均源于“对内型表达”和“对外型表达”的不同所致吧。

#### キーワード

形態変化の有無 言語の形体 意合法 身内型表現 他人型表現

#### 目次

0. はじめに
1. 単形体言語と多形体言語
2. 意合法と細部表現

### 3. 身内型表現と他人型表現

### 4. おわりに

## 0. はじめに

80年代から90年代にかけて中国の大学を訪問すると、大学の全体像が紹介され、日本では中国から訪問客が来ると大学の先端部分の何箇所かが紹介された。当時は紹介の仕方でも中日両国では随分違うものだなと感じたが、なぜこうも違うのかについては気がつかなかった。また、経済界では中国は時間を守るとは言えないが、仕事は完成されている。日本は約束した時間通りに商品を納品し、商品も品質が良く、信頼性を高めているなどと言われていた。当時はなぜこうも中日両国では時間概念や商品の納入が違うのだろうかという疑問が生じていた。これらの違いがどこに由来するのかが長年の疑問であった。

言葉の発達にも中日両国では違いが見られる。中国語は書き言葉として発達し、日本語は話し言葉として発達した。これらの発達にも環境の違いがある。中国では文字を書く対象物が青銅・銅・鉄・竹片・絹などであり、それらは文字が彫り難いか高価なものであったために、文字数はなるべく少ないほうがよかった。中国の4大発明のひとつ「紙」も絹などに比べると安かったが、それでも当初は高価なものであった。日本では7世紀前まで文字が伝わっていなかったので、話し言葉としてだけ発達する。日本でも和紙が作られるようになると、徐々に書き言葉が発達してくる。

書き言葉として、中国語は今から約3000年前の周代に一応の完成をみる。日本語はそれに遅れること約2000年の平安時代に一応の完成を見る。その目安は『紫式部日記』(1008)と言われている。

本稿では中日両言語の形態変化の有無による違いから、両言語にどのような特徴が現れるのかを「単形体言語と多形体言語」「意合法の発達と細部表現の発達」「身内型表現と他人型表現」の3点に分けて分析してみる。

## 1. 単形体言語と多形体言語

中国語は原則として漢字だけで文章を書く。本稿ではこれを単形体文字言語（単形体言語と略称）と言う。それに対し、日本語は漢字・平仮名・片仮名およびそれらが混用されている漢字仮名交じり文で文章を書く。本稿では、これを多形体文字言語（多形体言語と略称）と言う。以下では例文を参考にして両者の特徴をみてみよう。

### 1.1. 言語の種類と句読点との関係

中国語は古漢語から現代漢語まで漢字だけで文章を書く。漢字だけだと読み難く、いろいろな解釈が出てくる。それに対し、日本語は古来漢字・ひらがな・片仮名で文章が書かれてきた。文字の種類がいくつかあると、文章が読みやすくなる。中日両言語では、同じ現実を表現する文字に何故このような差異があり、それぞれどのような特徴があるのだろうか。以下で中日両言語を比較してみよう。

- (1) 我不时向四周胆怯地望望，满桌的人却对我点头微笑。

（『人民』89-7-102）

私がときどきおそろおそろまわりを見まわすと、テーブルの全員がにっこりと私に会釈をする。

（同上、89-7-103）

- (2) 有一户人家，真的在阳台上挂了个风铃，微风吹去，“叮呤叮呤”的声音美妙无比。

（『人民』97-8-87）

一軒のベランダには本当に風鈴がふるされ、風に吹かれてチリーンチリーンと美しい音を響かせている。

（同上、97-8-86）

- (3) 口里没味，这皮蛋粥还真合了她此时的胃口。

（『人民』18-1-69）

何を食べてもおいしくなかったのに、このピータン粥は本当においしく感じた。

（同上）

- (4) やがてゴミは消え、みずみずしい菜園が出現した。

（『天声・解説』p.45）

不久，垃圾消失了，绿油油的菜园出现了。

（同上、p.47）

- (5) 電車の中でこっくりやっている人の多さは、パリやロンドン、  
ニューヨークの比ではない。 (『天声・集萃①』 p.155)

在电车中打瞌睡的人之多是巴黎、伦敦和纽约不能相比的。

(同上、p.162)

- (6) 生涯に十数ヶ国語をマスターし、欧州の現代語ならば6週間以上は  
かからなかった。 (『天声・集萃②』 p.29)

他一生掌握了十几个国家的语言。如果是现代的欧洲语言，他用不了  
6周时间就可以学会。 (同上、p.36)

上掲の例文を見ると、名称語(辞典掲載語)としての単語レベルでみれば、中国語は原文(例1, 2, 3)であれ訳文(例4, 5, 6)であれ、すべて中国の漢字で書かれている。一方、日本語は原文(例4, 5, 6)であれ訳文(例1, 2, 3)であれ、原則として日本の漢字(全員、菜園、生涯)・ひらがな(ときどき、やがて、かからなかった)・カタカナ(テーブル、パリ、マスター)で書かれている<sup>1)</sup>。中日両言語では、このように文字の形体は異なるが、どちらも文章としては読みやすい。この読みやすさに係わるのが記号(“标点符号”「句読点」)である。

上掲の例文中では、中日両言語を比較すると、中国語には标点符号の逗号(,)、句号(。)、双引号(“”)、頓号(、)が使われ、日本語には点(.)と終止符(。が使われている。中国語は漢字だけなので、标点符号の種類をたくさん使うことにより、文章を読みやすく理解しやすくさせている。日本語は漢字・ひらがな・カタカナで書かれているので、文章が漢字だけで書かれる中国語より読みやすく理解しやすい。そのため句読点の種類は少ない。

## 1.2. 中日両言語と語順との関係

単形体言語と多形体言語は、上記の特徴のほかにも語順の厳しさと緩やかさを両言語にもたらしした。

<sup>1)</sup> 日本語には3種類の文字を混用する混用語(例3の[ピータン粥]、例6の[マスターし])もある。

- (7) 她管他叫“我的大傻瓜”。（『人民』88-1-92）  
彼女は彼を「大バカさん」（筆者訳：おバカさん）と呼んでいる。  
（同上）
- (8) 招牌又去掉了个“湖”字。（『人民』97-11-87）  
こんどは「湖」の字が看板から消えた。（同上）
- (9) 一晃半月过去了。（『人民』18-3-69）  
たちまち半月が過ぎた。（同上、18-3-68）
- (10) 木が、みな同じ方向に倒れている。（『天声・解説』p.39）  
树木统统向一方倾倒。（同上、p.43）
- (11) 操縦士として優秀なら、国籍は関係ないだろう。

（『天声・集萃①』p.101）

只要是优秀的飞行员，国籍不应该成为问题。（同上、p.106）

- (12) やはり手の奥には心が控えているのか。（『天声・集萃②』p.241）  
这难道不是手的深处有一颗心在驾驭吗？（同上、p.245）

上掲の例文を見ると、名称語としての単語レベルでみれば、中国語は原文（例7, 8, 9）であれ訳文（例10, 11, 12）であれ、すべて中国の漢字で書かれ、簡単には語順を換えることができない。一方、日本語は原文（例10, 11, 12）であれ訳文（例7, 8, 9）であれ、原則として日本の漢字・ひらがな・カタカナで書かれ、混用語（大バカさん）もあるが、原文であれ訳文であれ、日本語は語順を簡単に換えることができる。

たとえば、例(7)(8)(9)は「彼を彼女は「大バカさん」（筆者訳：おバカさん）と呼んでいる。」、「「湖」の字がこんどは看板から消えた。」、「半月がたちまち過ぎた。」とも言え、(10)(11)(12)は「みな同じ方向に木が倒れている。」「国籍は操縦士として優秀なら関係ないだろう。」「手の奥にはやはり心が控えているのか。」とも言える。これは名詞や代名詞に付く格助詞が発達しているためである。たとえば、「ハ格の代名詞：彼女は」であれば主格、「ヲ格の代名詞：彼を」であれば目的格なので、それらを文中のどの位置においても「彼女は「おバカさん」と彼を呼んでいる。」（例7）、文として成立する。また、

副詞は動詞や動詞連語を修飾するので、[手の奥には心がやはり控えているのか。]とも言える。

これらの実例と書き換えた文から、日本語は中国語に比べると、語順が比較的自由である、と言える。これは形態変化の発達とそれに関連する修飾関係の発達による。

## 2. 意合法と細部表現

中国では、文字を記す対象物が書きやすく、大衆的な廉価な紙が発明されるまでは、高価な絹や彫り難い竹片であったため、文字数をなるべく少なくした。映画やテレビの時代劇で、私たちがよく目にするのは、王命を伝える絹の勅書か秘伝を竹片に彫った武芸書などである。

日本に初めて漢字が伝わるのは、《後漢書・東夷伝》によれば、東漢の光武帝が紀元 57 年に日本からの使者に倭奴国の国王に金印を賜った<sup>2)</sup>とある。これより以前は、日本には文字がなかったので、日本語は話し言葉でしか発達しなかった。

### 2.1. 全体と部分（概括的と個別的）

古漢語は昔から点と線の文章だと言われてきた。現代中国語にもその名残がかなり色濃く残っているので、いろいろな訳し方がある。以下の例文を見よう。

(13) 心底荡出丝丝缕缕的自怜自爱的感觉。 (『人民』 88-9-96)

みじめさと自分をいとおしむ気持ちが少しずつひろがっていく。

(同上、88-9-97)

(14) 上班到公司，发现科里的小郭有点闷闷不乐。 (『人民』 96-4-87)

会社に出ると、同僚の郭君が浮かない顔をしていた。

(同上、96-4-86)

<sup>2)</sup> 魯宝元著 神里常雄訳(2000:401)によれば、漢の光武帝が日本の倭奴国に賜った金印が 1784 年に日本の福岡県糟屋郡志賀町で発見されたとある。

- (15) 小张和我一合计，就餐问题自己解决，避免扰民。（『人民』18-6-69）  
張さんと私は相談して、食事の問題は自分たちで解決し、人々を煩  
わせないことにした。（同上、18-6-68）

- (16) 多ければ一日に50人、平均すると30人の乗客がある。  
（『天声・解説』p.14）

乗客多時一天50人，平均每天30人左右。（同上、p.17）

- (17) ところでBBCといえば、その日本語放送は歴史が古く、人気が高  
かった。それが3月に廃止となった。（『天声・集萃①』p.2）  
顺便说一下，BBC的日语广播历史悠久、人气很旺。但3月就停播  
了。（同上、p.10）

- (18) こつは、寸暇を惜しんで愚直に文章を暗誦することだった。  
（『天声・集萃②』p.29）

窍门是一有闲暇就死背书。（同上、p.36）

例(13)の文末は現在形 [少しずつひろがっていく]、(14)と(15)の文末は過去形 [浮かない顔をしていた] [煩わせないことにした] で訳されているが、(13)は過去形 [少しずつひろがっていった]、(14)は現在形 [浮かない顔をしている] と訳しても間違いではない。例(13)と(14)は現在形で訳しても良く、過去形で訳してもよいことになる。出来事を現在として捉えるか過去として捉えるかにより、日本語の表現はどちらか一方になる。例(15)は二人の相談から結論までが描かれているので、やはり過去形で訳すほうがよい。

例(16)の中国語訳は時間から開放され、(17)は“3月”と“就停播了”との呼応関係により、出来事が3月に行われたことを表している。(18)の原文は過去形「文章を暗誦することだった」だが、訳文は時間から開放されている。

以下では中日両言語の副詞“已经、已”と[すでに、もう]を用いている例文をもう少し分析して、中日両言語を比較対照してみよう。

- (19) 那柔情的声音，丁茜已经好久没有听到了。（『人民』88-9-96）  
なんてやさしい声、丁茜はずいぶん長いあいだ聞いていないなと  
思った。（同上）

- (20) “呜—” 火车已经进站了，洁仍在手忙脚乱地往丈夫的旅行包里塞着刚买来的吃食。 (『人民』96-1-87)  
「うー」と低く警笛をならしながら列車がプラットホームに入ってきたが、潔は依然としてせわしげに、買ってきたばかりの食品を夫の旅行カバンに詰めている。 (同上、96-1-86)
- (21) 梅姐已弯下腰在脱鞋了。 (『人民』18-5-69)  
梅さんはすでにかがんで靴を脱いでいた。 (同上、18-5-68)
- (22) 若者も、学生時代にすでに、その風習に染め上げられる。  
(『天声人語①』 p.27)  
年轻人在学生时代就已经沾染了这种(风俗)习惯。 (同上、p.35)
- (23) 外国人が操縦するの、と抵抗を感じる日本人がいるかも知れぬ。だが、外国人の操縦士はすでにいるし、海外旅行で外国の飛行機に乗れば、機長は外国の人だ。 (『天声人語①』 p.106)  
也许有一些日本人对外国人开飞机有抵触，但现在已经有现成的外国飞行员了。而且到海外旅行坐国外飞机，机长也是外国人。 (同上)
- (24) 悲観したくはない。だが、そんなものと受け流せる数字では、もうないように思う。  
(『天声人語②』 p.182)  
我不想悲观(地看待此事)，但我想对这样的数字已不能轻视了。  
(同上、p.190)

例(19)(20)は動詞が過去形 [思った、入ってきた] で訳されているので、“已经”が訳されていない。(21)は過去形で訳され、“已”も訳されている。(19)(20)は2例とも行為がすでに行われていることが明らかなので、日本語では重複を避けるために“已经”が訳されていない。(21)は副詞 [すでに] がなければ、現在の状態を表すことになる。過去に行われた行為であることを表すためには [すでに] を訳す必要がある。

例(22)(23)(24)は副詞 [すでに] や [もう] を使っている。これらはいずれも出来事が過去に起こり現在もつづいている現在パーフェクトで表現されている。(22)(23)の [すでに]、(24)の [もう] はいずれも“已经、已”を使っている。

中国語は、一般に時間表現は時間表現として表し、過去の行為は行為として表すところに特徴がある。日本語は両者が呼応しているので、どちらか一方があれば、文として問題がないようである。どちらか一方にしないと文が長くなってしまふ嫌いがあるためである。ここには中日両言語の特徴が表現されている、と言える。

日本語は過去の出来事を表していれば、重複を避けるために過去時間を表す副詞は、減訳される傾向にある<sup>3)</sup>が、中国語は過去の行為を表していても、行為を表す語句にテンスがないので、過去時間を表す副詞を用いなければならぬ。さもなければ、過去のことかどうか、判断ができかねることになる。このことから、日本語は動詞にテンス・アスペクト<sup>4)</sup>があるが、中国語は時間詞（時間副詞）<sup>5)</sup>に日本語のテンス表現に代わる時間を示す表現のあることが明らかである。

これとよく似た中日両言語の表現に中日両言語の副詞がある。文中に現れる副詞は中日両言語では異なる。中国語の副詞は文中におけるそれぞれの役割があるので表現するが、日本語は出来事の中で副詞とほぼ同じ意味を表すことができているので、重複を避けるためと出来事を強調しすぎることを嫌う傾向にある日本語では、文中に副詞を使わず減訳とする。

(25) 下车后又渴又累，想在街上吃点什么吧，走了几家饭馆，偏偏都不中意。 (『人民』88-2-98)

夜汽車を降りると、のどは渴き、クタクタに疲れていた。街でなにか食べよう、と思って、何軒か食堂に入ってはみたが、どれも気がすまない。 (同上、88-2-99)

<sup>3)</sup> 時間は名詞・副詞および動詞の過去形で表わせる。筆者の中心義後置のルールにより、動詞の過去形と同じ意味を表すのであれば、重複を避けるため、時間を表す副詞は往々にして減訳される。

<sup>4)</sup> 一般に日本語は形態変化があることにより、動詞の末尾にテンスとアスペクトを表す概念がある。

<sup>5)</sup> 中国語は形態変化がないので、時間を表す名詞や副詞に時間を表す概念があり、動能助詞にはアスペクトを表す概念はあるが、時間を表す概念がない。

- (26) 黄处长休息了一周，今儿头一天上班，一早晨就接了六次电话。

(『人民』93-7-111)

一週間の休暇をとっていた黄部長が、今日から出てきた。さっそく朝から電話が六本もかかってきた。(同上、93-7-110)

- (27) 过了几天，心情平静以后，我才拿钱去给老何。(『人民』18-7-69)

数日後、心を落ち着かせてから、私はお金を持って何さんのところに行った。(同上、18-7-68)

- (28) 久しぶりに故国の新聞や雑誌を読み、友人とおしゃべりをして、3

つの単語がとても目立つのに気づいたという。(『天声・解説』p.1)

隔了好久又看到了本国的报刊，和朋友一起聊天，她说发现了三个十分引人注目的词。(同上、p.4)

- (29) 来日 12 年目、今年の医師国家試験に合格した趙銘鉄さんは、中国で医師だった。(『天声人語①』p.102)

赵铭铁女士在中国是一名医生，来日本已经 12 年，今年通过了全国医师考试。(同上、p.112)

- (30) そういえば、野菜や果物の花をどれほど知っているだろう。『キャベツにだって花が咲く』(光文社新書)を読んで指を折った。

(『天声人語②』p.168)

说起来，我自己究竟知道有多少种蔬菜和水果会开花呢？当我读了《圆白菜也开花》(光文社新书)后，掰着指头数了数。(同上、p.170)

例(25)の“又…又…”は二つの出来事を並列させる用法だが、日本語では二つの出来事として表現しているので、副詞は減訳されている。(26)の“一…就…”は、ある時間帯から出来事が発生する用法だが、日本語ではその意味が出来事のなかに表現されているので、やはり減訳となっている。(27)の“才”は前の出来事と、後の出来事が発生するまでに時間が随分かかったことを表しているが、日本語では、それが二つの出来事のなかで表現されている。

例(28)(29)(30)の下線部には副詞が使われていないが、その訳文にはいずれも副詞“又、已经、究竟”が使われている。日本語は出来事の強調を嫌う傾向

にあるので、副詞を使わないのが一般的<sup>6)</sup>であり、出来事「故国の新聞や雑誌を読み」[12年目]「野菜や果物の花をどれほど知っているだろう」のなかに、副詞の意味が含意される。中国語は副詞を用いることによって、出来事の重複“又”、年月の長さ“已经”、追及“究竟”を表す。副詞がなければ、これらの特性が分からないと言える。

## 2.2. 実行と時間

一般に中国人は時間に対しておおまかであり、日本人は時間に対してかなり正確だと言われている。小説のなかでも時間に関する表現には、この特徴が現れている。日本語は時間や場所と関わる動詞の形態変化が発達していることにより、時間や場所などをきちんと表現する習慣の表れであろう。

- (31) 情人节这天，我有一个约会，是记者采访。女记者迟到了。夜色中，她小跑过来，跌跌撞撞，包里露出半个巧克力盒子，手里握了一束不怎么精神的红玫瑰。对不起对不起！女记者连声道歉，从包里掏出录音机，赶紧进入工作状态，随手将玫瑰扔在一边。（『人民』17-2-70）  
バレンタインの日、私には予定が入っていて、それは取材であった。その女性記者は遅れてやって来た。暗闇の中、彼女はよるめきながら駆け寄って来て、そのカバンからはチョコレートの箱が半分顔を出し、手にはしおれかけた赤いバラの花束を握っていた。すいません、すいませんと、女性記者は何度も謝り、カバンからレコーダーを取り出すと、すぐ仕事の態勢に入って、手に持っていたバラを横にポンと放り出した。（同上）
- (32) 没有料到的，几天后，梅姐突然打电话给我：“下班后，你到青少年宫门口，玲在那儿等你。”（『人民』18-5-69）

<sup>6)</sup> 日本語は表音文字であるばかりでなく、形態変化が発達しているので、文が長くなる傾向にある。そのため、表現をなるべく簡潔にする傾向にあり、副詞がしばしば減訳される。副詞は動詞や形容詞およびそれらの作る連語を修飾するので、副詞の表す意味がそれらの語句の中に含まれる傾向にあるからである。

思い掛けないことに、数日後、梅さんが突然電話をよこし、「仕事が終わったら、青少年宮の入り口のところに行って。玲がそこであなを待っているから」と言った。(同上)

- (33) 这小子不错，有了他这个活闹钟，我再也不怕上班迟到了。即使熬到深更半夜，也不用担心。 (『人民』18-3-69)

この青年は素晴らしかった。彼の「目覚まし」ができてから、私は遅刻することがなくなった。 どんなに夜更かしをしても、心配なくくていい。(同上、18-3-68)

- (34) 1968年(昭和43年)のあす、12月10日午前9時20分ごろ、事件は起こった。東京都府中市の府中刑務所わきの路上で、白バイ姿の男が日本信託銀行国分寺支店の現金輸送車を止め、車を奪って逃走した。 (『天声・解説』p.165)

案件发生在1968年(昭和43年)的明天，即12月10日上午9点30分左右。在东京都府中市府中监狱旁边的街道上，一名开着白色警用摩托车的男子截住了一辆日本信托银行的运钞车，并且，夺车之后逃之夭夭。 (同上、168)

- (35) 興味深いのは目の合わせ方である。長いと失礼な感じだし、短いとそっけない。その会社の列車営業部長の吉田孝雄さんによると「いろいろ試した結果、一人当たり3秒まで」にしたという。

(『天声人語①』p.141)

令人颇感兴趣的是对视的方式，太长感到失礼，太短觉得冷淡。那家公司的列车营业部长吉田孝雄先生说：“通过各种尝试，得出的结论是每人不超过3秒。” (同上、p.146)

- (36) 朝日新聞の会員サービス、アスパラクラブが「おまえ」という呼び方への反応を約2万人に聞いた。配偶者や恋人にそう呼ばれたら「腹立たしい」「なんとなく不快」との回答が、男女とも8割あった。「新婚当初、それでよくけんかした」女性もいる。

(『天声人語②』p.261)

《朝日新聞》の会員（在线）服务机构——“芦笋俱乐部”对大约两万人就被称为“OMAE”时所作出的反应进行了调查。有8成的男性和女性回答说：当被配偶、恋人这样叫时感到生气、不愉快。还有的女性说：“刚结婚的时候，还常为此吵架。”（同上、p.266）

例(31)は取材対象者と女性記者の話である。一般には記者が取材対象者の都合のよい時間を伺って、約束の時間の前に行くのであろうが、ここでは反対に遅れて到着する。(32)はデートの約束である。場所は正確に伝えるが、時間は退勤後であり、かなりおおまかである。(33)は牛乳配達屋さんに7時に起こしてもらおうという話である。自分が起きなければならない時間なのに他人に頼むのは、社会人であれば、一般には考えられないことである。いずれも場所はかなり明確だが、時間に対する慎重さに欠けている。

例(34)は正確な時間「12月10日午前9時20分ごろ」を示し、(35)は正確な時間の長さ「3秒」を示している。(36)は比率「8割」を示している。細かい所まで、数字がかなり正確に書いてある。これらの具体的な時間表現は細部までくまなく表現できる形態変化から来る細かいことにこだわる日本人の特徴であろう。

### 3. 身内型表現と他人型表現

中国語にはときどき、親しさを表現するために呼称や文などに身内型表現が見られる。日本語ではそういう表現は一般になく他人型表現<sup>7)</sup>である。

- (37) 有一次，男孩子扑到陶理怀里动情地说：陶老师，我叫你哥哥行吗？陶理那一刻很激动，紧紧抱住了男孩子。（『人民』93-11-111）  
ある日少年が陶理に抱きつき、感極まって言った、陶先生、ボク、先生をお兄さんと呼んでもいい？それを聞いて陶理はすっかり感動し、ひしと少年を抱きしめた。（同上）

<sup>7)</sup> 高橋弥守彦（2017:28）に身内型表現と他人型表現が詳説されている。それによれば、中国語は呼称表現だけではなく、文などにも断定的な身内型表現“他很头疼。”[彼は頭が痛いようだ。]（同書、p.33）がある。日本語では断定的に訳せない。

- (38) 我想，如果可以确定她就是袁小雪，我一定会跪下去叫一声奶奶。  
(『人民』 88-8-98)  
もし、このひとが袁小雪にまちがいなければ、ひざまずいてお詫び  
を言おう。(同上)
- (39) “您保重！”老木握着处长的手说。(『人民』 89-4-101)  
「どうかお体大事に」ラオムーは、処長の手を握りながら言った。  
(同上、89-4-102)
- (40) 村里人知道了她的事，全都萧然起敬。没人叫她丑姐儿了，一个个唤  
她菲菲或是菲姐儿。(『人民』 91-2-97)  
この事を知った村の人たちは、みんな尊敬の念に打たれた。彼女を  
みにくい姉さんと呼ぶ人はいなくなり、誰もがフェイフェイ、フェ  
イ姉さんと呼ぶようになった。(同上)

例(37)は陶先生に対して生徒が“我叫你哥哥行吗?”と言う。日本であれば失礼なことになるが、陶先生はそれに対し感動する。師弟関係よりも兄弟関係のほうが親しいからである。(38)は“我”が“叫一声奶奶”と言うのは、家族でもない関係が家族関係となる呼称“奶奶”である。(39)の“老木”は名字の前に“老”を用いているので、かなり親しいと言える。(40)の“丑姐儿”“菲姐儿”は、兄弟姉妹でもない他人からの彼女に対する呼称である。これらは日本では聞かれない呼称で、日本語では一般に名字や職掌などを用いる。

#### 4. おわりに

中日両言語は、使う文字の違いにより、形態変化の有無がある。本稿では原則として漢字しか使わない中国語を単形体言語と名づけ、漢字・ひらがな・カタカナを使う日本語を多形体言語と名づけている。漢字しか使わない中国語は意合法が発達し、日本語は単語が形態変化するので細部表現が豊かになり、中日両言語では語順の厳しさにも違いが見られる。また、中日両国における感情表現の特徴が身内型表現と他人型表現を生むことになる。

## 言語資料

1. 『人民中国』ショートショート 人民中国雑誌社 1988～1997
2. 『中国語学講読シリーズ』①～⑥ 北京外文出版社 1991
3. 『天声人語集萃』①② 黄力游 林翠芳 編 外语教学与研究出版社 2007 2011
4. 『日本時事コラムハイライト』《日本時事短評集萃》申秀逸 编译 知识产权出版社 2014

## 参考文献

1. 苑 崇利（2008）『日本文化概観』外语教学与研究出版社
2. 汪 玉林（2002）「中国語の中の数字文化」『明海日本語』第7号（ネット）
3. 栗田直躬（1996）『中国思想における自然と人間』岩波書店
4. 鈴木康之（2000）『日本語学の常識』海山文化研究所
5. 鈴木康之（2014）『連語論講義録』大東文化大学
6. 高橋弥守彦（2006）『実用紹介中国語文法』郁文堂
7. —————（2017）「日本語の副詞の位置」『外国語学会誌 No.47』大東文化大学外国語学会
8. —————（2017）『中日対照言語学概論—その発想と表現—』日本僑報社
9. 张 志军（2008）《日语自他动词》旅游教育出版社
10. 唐 向紅 鷺尾紀吉（2010）「中国と日本の数字文化における比較研究」『中央学院大学紀要』中央学院大学
11. 蜂屋邦夫（1996）『中国思想とは何だろうか』河出書房新社
12. 松本雅明（1973）『中国古代における自然思想の展開』中央公論事業出版
13. 宮島達夫（1972）『動詞の意味・用法の記述的研究』秀英出版
14. 山本秀樹（2002）「世界諸言語の語順類型研究における諸問題」『人文社会論争、人文科学篇』7 弘前大学人文学部
15. 李 金蓮（2012）《日汉被动句对比研究》山东大学出版社
16. 林 翠芳（2013）「中国語と日本語の数字に見る文化的要素に関する一考察」『高知大学留学生教育』第7号（ネット）
17. 魯 宝元 著 神里常雄 訳（2000）『中国語と中国文化』华语教学出版社